

大規模災害時の死体検案に関する注意事項

1 遺体の収容及びトリアージ後の対応

- (1) 生存者の救出や火災などにより遺体が損傷を受ける可能性があれば、警察の許可を得て遺体を移動させることができる。その場合は、受傷の状況が分かるように遺体の写真撮影など可能な限り記録を残しておく。
- (2) トリアージ黒では、死亡確認時刻（分単位まで）と確認者名をトリアージタグに明確に記載する。
- (3) 医療機関に搬送後、又は治療後の遺体は、医療機関で仮安置する。遺体を数カ所に集約するかは、種々の状況により警察と協議して対応する。

2 遺体安置所

- (1) 災害で多数の死者が発生した場合、身元確認・死因判断を行い、適切かつ速やかに遺体を遺族にお渡しするため、警察、自治体の判断により地域防災計画で指定されている大規模施設を使用する。遺体の検視・検案・処置を行うため、施設内部のレイアウトを行う。
- (2) 人員配置は、医師、歯科医師、検案補助者からなる検案チームで行うことが望ましい。リーダーは、法医学者や監察医が望ましく、警察や市町村災害対策本部と密接に連係して検案チームの適正な運用に努める。
- (3) 必要な物品は、印鑑、筆記用具、白衣、カメラ、電池、ゴム手袋、温度計、巻き尺、ピンセット、ふた付き試験管、穿刺針、ディスポーザブル注射器、開口器、懐中電灯、A B O式血液型判定用の器具などである。
- (4) 物品は、検案に当たる医師自身が予め準備しておき、検案記録用紙や死体検案用紙も必要になるが、現地の法医学関連機関（大学の法医学教室、監察医務機関など）及び自治体の協力を得て準備する。
- (5) 遺体安置場所の広報と警察による被害者情報の収集、集約
身元不明の遺体の速やかな確認のため、家族に対する窓口の設置や、遺体収容状況の広報と家族からの情報収集と確認は、全て警察担当者により一元的に集約・管理される。

3 検視と死体検案

- (1) 死体検案は、医師が死体の外表を検査し、死因や損傷、死後経過時間、個人識別などの医学的判断を行うことであり、検視の一環として行われる。災害時の死体検案は、死者の戸籍抹消、法的問題の処理の他、災害死の疫学的調査や刑事訴訟上の検証、災害復興や将来の災害対策のための基礎資料、災害死の認定やそれに伴う社会保障の資料としても使用される。
- (2) 検視と検案業務の流れは、司法警察員による検視の終了後、医師による検視が行われる。死後硬直、死斑、体温低下、体表面の損傷は、人体図に詳しく記載する。身体的特徴（手術痕、あざ、ほくろ、刺青など）、性別、推定年齢も記録する。
- (3) 身元判明が困難の場合は、歯科医によるデンタルチャートの作成や場合によりX線撮影も行われる。警察担当者による指紋採取やDNA型検査による確認も考慮する。
- (4) 検案終了時には、トリアージタグの回収を忘れないようにする。

4 検案に際して注意すべき事項

- (1) 死体検案書の記載事項：死因、死亡時刻推定基準、外因死の追記事項の記載、用いる名称などは、リーダーを中心に統一しておく。
- (2) 死亡時刻：医師が死亡を確認した時刻を死亡時刻とする。遺体の死体現象・発見状況から判断す

るが、多くの場合推定となる。事故発生直後の時刻に統一するなど、検案チーム全体の基準が必要である。

(3) 試料採取と保管：遺体の損傷が高度の場合は、警察の許可を得て、個人識別の手段にDNA鑑定のため検査試料の採取が強く求められる。血液や毛根を含む毛髪や口腔粘膜材料の採取・保管について検案チーム全体で手順を打ち合わせ、検体保管所も決めておく必要がある。

(4) 検案記録の保存と管理：医師が作成した死体検案書の控え、検案記録（人体図を含む。）及び写真は、後日の窓口になる現地の法医学関連機関で一元保存する。

5 遺族への対応

(1) 損傷が高度な遺体は、遺族との対面前に修復処置をすることが望ましい。

(2) 死体検案書の交付は、速やかに行う。多数の死体検案では時間を設定して遺族に死体検案書を交付することもあり、警察の遺族担当者の協力が不可欠である。

6 大規模災害での死体検案体制

(1) 死体検案と法医学者・監察医の役割

災害が発生した地域や災害の状態によっては臨床医に検案が依頼されることがあるが、臨床医には負傷者に対する救急医療活動が優先される。災害後初期には、多数の負傷者が医療機関に殺到し、混乱することから、この段階における臨床医への検案依頼は、救急医療にとって負担となることが指摘されている。一方で、法医学者や監察医による統一された検案体制での死者の状態の正確な記録は、疫学的検証も踏まえ、将来の災害対策に不可欠なものである。災害時の有限な医療資源の有効活用という観点からも、救急医療・救護活動に従事する臨床医のマンパワーを削ぐことなく、可能な限り専門家である法医学者・監察医が検案活動に従事することが望ましい。災害の規模、あるいは地域の実情によって、検案経験を有する臨床医がやむを得ず検案に従事する場合でも、法医学者・監察医がリーダーシップを取り、死体検案業務における指導的役割を果たすべきである。各自自治体で立案される防災計画や災害対策マニュアルの中にも、法医学者・監察医の派遣を含めた死体検案業務における対応や検案医師の支援体制を定めておく必要がある。また、日頃から、臨床医を対象とした検案指導や研修会を法医学者・監察医が積極的に行うといった活動も求められる。

(2) 日本法医学会の災害時死体検案支援体制

法医学者は、死体検案の専門家である、という観点から、日本法医学会には、大規模災害時における死体検案支援体制がある。大規模災害時に、災害現場の法医学関連機関（災害現場機関）が警察本部や行政機関から死体検案の要請を受けた場合、対応する災害現場機関が窓口となり地区理事を介して日本法医学会に連絡する。日本法医学会は、死体検案支援対策本部を設置し、災害現場機関と密接に連絡を取り、必要に応じて死体検案チームを編成・派遣するシステムとなっている。

(3) まとめ

大規模災害時における死者への十分な対応を行うためには、十分な死体検案が行える体制の構築が不可欠である。そのためには、それぞれの地域の実情に合わせて、死体検案に従事する医師の動員や応援要請が速やかに行えるシステムを構築しておく必要がある。さらに、日常の災害医療訓練の際には、死体検案体制についても同時に検証しておく必要がある。今後の災害医療体制の中で、災害による死者に対する対応も、その一環として常に考慮していくことが必要である。

（出典：「経験から学ぶ大規模災害医療」）

長野県が備蓄する災害用医薬品・衛生材料備蓄品リスト(2015年)

●内服薬

薬効	一般名	規格・単位 (同等品を許容)	最低備蓄量 (全備蓄量)	商品名(例示)
睡眠導入剤	ゾルピデム酒石酸塩	5 mg 錠	10,400	マイスリー
解熱鎮痛剤	アセトアミノフェン	200 mg 錠	45,500	カロナール
	ロキソプロフェンナトリウム	60 mg 錠	65,000	ロキソニン
抗不安剤	ジアゼパム	2 mg 錠	5,200	セルシン
消化器用剤(鎮痙剤)	ブチルスコポラミン臭化物	10 mg 錠	2,600	ブスコパン
消化器用剤(PPI)	オメプラゾール	10 mg 錠	1,300	オメプラール
消化器用剤(制吐剤)	ドンペリドン	10 mg 錠(OD可)	2,600	ナウゼリン
消化器用剤(止瀉薬)	ロペラミド塩酸塩	1 mg カプセル	3,900	ロペミンカプセル
消化器用剤(下剤)	酸化マグネシウム	330 mg 錠	5,200	マグミット
	レボフロキサシン	500 mg 錠	11,700	クラビット
	アモキシシリン	250mg カプセルまたは錠	7,800	サワシリン
抗ウイルス剤	セフカペンピボキシル塩酸塩	100 mg 錠	13,000	フロモックス
	オセルタミビルリン酸塩	75 mg カプセル	10,400	タミフルカプセル
循環器用剤(降圧剤)	アムロジピン	5 mg 錠	13,000	ノルバスク
冠血管拡張剤	ニトログリセリン	0.3 mg 舌下錠	2,600	ニトロペン
抗ヒスタミン剤	ロラタジン	10 mg 錠	13,000	クラリチン
ホルモン剤	ブレドニゾン	5 mg 錠	1,950	ブレドニン
糖尿病用剤	シタグリブチン	25 mg 錠	5,200	ジャヌビア
抗パーキンソン病剤	レボドパノカルビドパ	100 mg / 10 mg 配合錠	1,300	メネシット

●注射薬

薬効	一般名	規格・単位 (同等品を許容)	最低備蓄量	商品名(例示)
局所麻酔剤	キシロカイン塩酸塩	1% 10 mL シリンジ	910	キシロカイン注
交感神経刺激剤	エピネフリン	1 mg	1,300	ボスミン
利尿剤	フロセミド	20 mg	260	ラシックス
副腎皮質ホルモン剤	デキサメタゾン	1.65 mg	650	デカドロン
消化器用剤(鎮痙剤)	ブチルスコポラミン臭化物	20 mg	520	ブスコパン
抗生物質	セフトリアキソンナトリウム	1 g	1,300	ロセフィン
輸液	低張性電解質液 (維持液・3号液)	500 mL	2,600	ソルデム3A輸液
生理食塩水	生理食塩水	100 mL	2,600	生理食塩液
		500 mL	1,300	

●外用薬

薬効	一般名	規格・単位 (同等品を許容)	最低備蓄量	商品名(例示)
局所麻酔剤	リドカイン塩酸塩	ゼリー 2% 30 mL	130	キシロカインゼリー
抗生物質(外用剤)	ゲンタマイシン硫酸塩	軟膏 0.1% 10g	650	ゲンタシン軟膏
熱傷治療剤	ジメチルイソプロピルアズレン	軟膏 0.033% 500g	65	アズノール軟膏
消炎鎮痛剤(貼付剤)	ロキソプロフェンナトリウム	貼付剤 100 mg	65,000	ロキソニンテープ
消炎鎮痛剤(坐薬)	ジクロフェナクナトリウム	12.5 mg	3,900	ボルタレンサポ
	アセトアミノフェン(小児用)	100 mg	520	アルビニー坐薬
消毒剤	クロルヘキシジングルコン酸塩	5% 500 mL	130	5% ヒビテン液
	エチルアルコール	70% 500 mL	520	消毒用エタノール
	塩化ベンザルコニウム等 手指消毒剤	速乾式等 1L	130	ウェルパス、 ヒビソフト
	ポピドンヨード	10% 250 mL	520	ポピヨドン液
	次亜塩素酸ナトリウム	6% 1.8L	65	ビューラックス
含嗽剤	ポピドンヨード	7% 30 mL	650	イソジンガーグル
合成抗菌剤(点眼剤)	レボフロキサシン	点眼剤 1.5% 5 mL	390	クラビット点眼液
洗浄用生理食塩水	生理食塩水	500 mL	1,300	生理食塩水
皮膚保護剤	白色ワセリン	500 g	39	白色ワセリン

●衛生材料

薬効	規格・単位	最低備蓄量	商品名(例示)
絆創膏 (粘着性伸縮包帯を含む)	巾 12～50 mm × 長さ 9 m 程度	4,550	
救急絆創膏 (ドレッシング剤を含む)	パッド吸収部サイズ 4 × 6cm以下	65,000	
滅菌ガーゼ	30 cm × 30 cm	130	
	7.5 cm × 10cm	3,900	
カット綿	3～5 cm 四方 500g	325	
清浄綿(酒精綿)	エタノール 80% 又は イソプロパノール 70% 含浸	52,000	
三角巾	大	325	
伸縮包帯	巾 5～10 cm × 長さ 5 m 程度	1,950	
伸縮ネット包帯	巾 10～50 mm × 長さ 20 m 程度	1,950	
プラスチックプリント材	腕用(M)副本	195	
	足用(L)副本	195	
マスク	サージカルマスク(ひも、耳かけ問わず)	13,000	
ディスポ手袋(滅菌品)	(双)プラスチック、ラテックス又はニトリル	1,300	
ディスポ手袋(未滅菌品)	(枚)プラスチック、ラテックス又はニトリル	13,000	
輸液セット	針(21～23G、翼状針・留置針含む)付き、 輸液セットと針は別でも可	8,450	
小児用ディスポ針	針(24G より細いもの、翼状針・留置針含む)	3,250	
ディスポーザブル注射器	1 mL	6,500	
	10 mL	6,500	
	20 mL	6,500	
ディスポーザブル注射針	18 G	3,250	
	22 G	6,500	
ディスポーザブル翼状針	23 G	6,500	
使い捨て舌圧子	滅菌済	1,950	
使い捨てピンセット	滅菌済	975	

出典：長野県医師会災害時医療救護指針 ～医薬品等の供給と使用～

●救護所に備える医療救護ボックス

救護所の運営及び医療救護活動のために必要な薬品及び衛生材料、資機材、物品等を装備しておく。

医薬品等で使用期限のあるものについては定期的に点検を行い更新する。

各市町村の判断で、必要な物品等は追加充実させていく。

【医薬品】

品 名	数 量	適 用（使用期限等）
*ロキソニン60mg	20 錠	
*フロモックス100mg	20 錠	
*ブスコパン10mg	20 錠	
*セフゾン 10% 0.5g 包	20 包	
*カロナール 20% 0.5g 包	240 包	
*PL総合顆粒1g	100 包	
*センノシド錠 12mg	100 錠	
*マグミット 200mg	100 錠	
セルタッチ6枚入り	4 袋	
イソジン液 10% 250ml	2 本	
ドクターズワブ(綿棒)20 本入	2 箱	

【衛生材料他】

品 名	数 量	適 用（使用期限等）
滅菌ガーゼ (ステラーゼ)	L 1 箱(8枚入)	10 箱
	M 1 箱(10 枚入)	1 箱
三角巾	11 枚	
弾力包帯	7.5 cm	4 本
	5.0 cm	4 本
包帯	3列3本 M	10 本
	5列3本 LL	10 本
絆創膏 (紙)	大1本	—
	小1本	—
スキンステープラー 35W タイプ2	1 個	
リムーバー KSR	1 個	
ソフトシーネ	LL	2 本
	L	2 本
	S	2 本
	SS	2 本
OQ バン M、200 枚	1 箱	
消毒薬	1 本	

サージカルマスク 50 枚入り		1 箱	
はさみ		2 本	
聴診器		1 個	
血圧計		1 個	
紙テープ 25mm×9m		2 個	
紙テープ 10mm×10m		2 個	
サージカルテープ 25 mm		1 本	
ホワイトテープ		1 本	
検診用マウスミラー		4 個	
ディスポ手袋	M(100 枚入り)	1 箱	
	L(100 枚入り)	1 箱	
ディスポ舌圧子 200 本入り		1 箱	
ディスポピンセット		2 本	
体温計		2 本	

【その他】

品 名	数量	適 用（保存年限）
トリアージタグ	100枚	
救護所旗	2枚	
災害時医療救護所開設マニュアル	2枚	
救護所開設状況報告書	3枚	
救護所運営状況報告書	5枚	
医薬品・医療機材等 注文・受払書	10枚	
災害診療記録(4種類:一般①②、外傷①②)	各1冊	
診療・業務日誌	10枚	
傷病者一覧表	10枚	
災害時医療救護活動マニュアル	2冊	
予備ビブス	2枚	
予備ヘルメット	2個	
筆記用具・ガムテープ等	一式	
ペンライト(予備電池含む)	2個	
懐中電灯(予備電池含む)	2個	
ランタン(予備電池含む)	1個	
ヘッドライト(予備電池含む)	1個	
災害救助用毛布(難燃制菌加工)	5枚	
おう吐物処理キット	6個	

須高地域ヘリポート一覧

<須坂市>

	名 称	所 在 地	電 話	ヘリポート面積	施設規模
1	森上小学校グラウンド	墨坂三丁目1番1号	026-245-0236	長さ 100 m 7,300 m ² 幅 73 m	中
2	井上小学校グラウンド	大字幸高292番地	026-245-0599	長さ 97 m 6,790 m ² 幅 70 m	中
3	須坂小学校 常盤中学校 グラウンド	大字日滝2番地	市民体育館 026-245-0466	長さ 165 m 16,335 m ² 幅 99 m	大
4	東中学校グラウンド	大字亀倉6番地6	026-245-2342	長さ 126 m 10,080 m ² 幅 80 m	大
5	仁礼小学校グラウンド	大字仁礼96番地2	026-245-2343	長さ 97 m 6,790 m ² 幅 70 m	中
6	豊丘小学校グラウンド	大字豊丘1070番地	026-245-0491	長さ 92 m 5,796 m ² 幅 63 m	中
7	北部運動広場	大字小河原1055番地3	北部体育館 026-248-5600	長さ 130 m 14,820 m ² 幅 114 m	大
8	高甫	墨坂南五丁目高甫橋下流右岸		長さ 60 m 1,800 m ² 幅 30 m	中
9	福島スポーツ広場	福島町1077-2他	026-245-0466	芝 10,800 m ² ×2面 クレー 6,300 m ² ×1面	大
10	須坂悠生寮グラウンド	大字米子7-1		長さ 80 m 幅 35 m	中
11	峰の原高原クロスカントリーコース	大字仁礼3135-654		長さ 100 m 幅 70 m	大

拠点ヘリポート及び長野県警察本部航空隊ヘリポート

	名 称	所 在 地	電 話	ヘリポート面積	施設規模
1	県民須坂運動広場	臥竜三丁目5番1号	026-246-4233	長さ 175 m 21,000 m ² 幅 120 m	大

<小布施町>

	名 称	所 在 地	電 話	広さ (m)	設備規模
1	小布施中学校グラウンド	小布施65		110×90 9,930m ²	大
2	町営グラウンド	中松1336-1		87×87 7,586m ²	大
3	松川総合グラウンド	雁田1263-3		100×100 9,171m ²	大
4	町営テニスコート	小布施1750-1		7,534m ²	中

拠点ヘリポート

	名 称	所 在 地	電 話	広さ (m)	設備規模
1	栗ガ丘小学校グラウンド	小布施1447-1		120×80 12,400m ²	大

<高山村>

	名 称	所 在 地	電 話	広さ 長さ×巾 (m)	施設規模
1	高山小学校校庭	高山村大字高井3455		145×73	大
2	高山中学校校庭	高山村大字高井4575		130×75	大

拠点ヘリポート

	名 称	所 在 地	電 話	広さ 長さ×巾 (m)	施設規模
1	東部運動広場	高山村大字牧865-3		130×75	大